

●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつしま 電話 32-3812



天狗らを笹の枝でたたく子どもたち

立江町の秋葉神社で10月18日、伝統行事の「天狗しばき」が行われました。この行事は、40年以上前から伝わる同神社の伝統行事で、「天狗をたたいた子どもは病気にかからない」との言い伝えがあり、天狗とキツネに扮した氏子を子どもたちが笹の枝でたたいて厄除けするというもの。

今年も、立江幼稚園児16人と立江保育所児19人が参加し、元気よく天狗とキツネを追いかけまわしました。

10/18
子どもたちの無病を祈って
「天狗しばき」

10/12
小松島中学校に卒業生が
清掃指導ボランティア

小松島中学校の卒業生が校舎内トイレなどの清掃方法を生徒に指導するため、10月12日に小松島中学校を訪れました。ボランティアで清掃方法を指導するのは、木村亮太さん（昭和63年3月卒業）たち6名で、木村さんは現在ハウスクリーニング業を営んでいます。

当日は2年生15名が指導を受け、約3時間の清掃に一生懸命取り組んでいました。小松島中学校では校舎を綺麗に使用し、次世代に受け継いでいくことを目標としているそうです。



トイレの清掃方法を教わる生徒たち



齋藤正さん（右）から寄付金が手渡される

県内初の女性教育委員長を務められた齋藤キヨミさん（平成20年12月亡）の生前のご遺志をうけ、10月29日、ご遺族である齋藤正さんから100万円が寄付されました。キヨミさんは、市内各小学校で教員を務められた後、千代小で教頭を、児安小で校長を2年間務められ、小松島市の教育に思い入れがあったそうです。

正さんは、「子どもたちのために学校教育の環境整備の向上に役立てて欲しい。」と話されていました。

善意の寄付

11/9
がんばる農村とくしま大会で
西原環境保全会が県知事表彰



受賞報告をする西原環境保全会の方たち

11月2日に開催された「がんばる農村とくしま大会2010」で徳島県農地・水・環境保全向上対策優良活動知事表彰（最優秀賞）を受賞した西原環境保全会（西山勲代表）が11月9日、市役所を訪れ、稲田市長に受賞の報告をしました。

田浦町西原地区の豊かな自然を次世代に引き継ぐため、西原環境保全会が地域の清掃活動やホテルの観察会、水車の補修・製作などを行っており、本大会で伝統的農法の実践を通じて農村特有の景観を保全している活動が評価され、今回の受賞となりました。